

会社名 株式会社エー・ピーホールディングス
 (コード番号:3175 東証スタンダード)
 代表者名 代表取締役会長 兼 社長 米山 久
 問合せ先 経営企画・IR室 室長 坂上 輝瑛
 (TEL. 03-6435-8440)

月次営業レポート(2025年12月度)

I. 2026年3月期 国内飲食店 前年同月比(売上高・客数・客単価)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
全店	売上高前年比 (%)	107.7	112.0	115.0	109.5	114.8	96.3	101.3	98.9	102.4			106.0
	客数前年比 (%)	109.8	109.9	106.3	109.1	116.5	96.9	100.7	98.5	102.0			105.2
	客単価前年比 (%)	97.4	101.0	98.7	99.9	98.4	99.9	101.2	100.4	101.1			99.8
既存店	当年店舗数(店)	136	134	124	124	124	124	124	124	124			124
	売上高前年比 (%)	100.7	105.4	101.9	103.7	109.3	100.3	106.6	104.2	107.7			104.5
	客数前年比 (%)	104.6	105.2	104.6	101.2	106.6	94.1	103.1	100.3	104.6			102.7
新規店	客単価前年比 (%)	97.0	100.8	96.4	101.7	102.2	104.6	102.2	102.1	101.4			101.0

* 2025年12月 曜日合わせ後の既存店売上高前年比 : 107.7% ⇒ 曜日影響 +0.0ポイント

(注)

- 決算確定前の数値によって算出しております。
- 既存店:オープン後13ヵ月経過した店舗、但し業態変更等により稼働しない期間は当該月のみ除外
- 売上高:ランチ・ディナー売上高の合計
- 客数:ディナー客数(ランチ除く)
- 客単価:ディナー客単価(ランチ除く)
- 曜日影響:前年と当年の月内の曜日日数の違いによる影響

【月次ハイライト】

2025年12月度は、年間最大の繁忙期において全店・既存店ともに前年を上回る極めて好調な推移となりました。忘年会需要が本格化するなか、11月からの冬季宴会プランが奏功し、「九州塚田農場」を中心とする居酒屋セグメントが全体を牽引。戦略的な予約促進策が結実し、既存店売上高は前年同月比107.7%と前月に続き高い伸長を記録しました。併せて、推進中である事業ポートフォリオ拡充の成果も顕著です。中高級業態においてクリスマス需要を最大化したことが、客単価の上昇と収益基盤の強化に大きく寄与いたしました。引き続き、「食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、変化し続ける消費環境に柔軟に対応しながら、今後も一次産業との深い繋がりを活かし、魅力あるブランドづくりを推進してまいります。

区分	前期末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国内	居酒屋事業	62	61	59	59	59	59	59	59	59	59		
	専門店事業	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49		
	レストラン事業	26	26	26	16	16	16	16	16	16	16		
	小計	136	136	134	124	124	124	124	124	124	124		
海外	19	19	19	19	19	19	17	15	15	15			
直営店合計	155	155	153	143	143	143	141	139	139	139			

当月出退店情報

出店
該当なし

退店
該当なし

業態変更
該当なし

<月次トピックス>

① 【十番 無鴨黒】フランスよりワイン生産者を迎える1夜限りのメーカーズディナーを開催

Na
Camo
guro



東京・麻布十番で運営する「十番 無鴨黒」では、12月13日にフランス・ブルゴーニュ地方のシャンボーラ・ミュジニーに本拠地を構えるワインの生産者「ユドロ・バイエ」から造り手であるグエン親子を迎え、1夜限りのメーカーズディナーを開催しました。グエン氏によるユドロ・バイエ厳選のワイン5種のストーリーを伺いながらシェフがこの日のために構成した1夜限りの最上鴨特製コースをお楽しみいただきました。十番 無鴨黒では今後も最上鴨を通じて鴨食文化の新しいかたちを発信しながら、生産者とお客様との懸け橋となるイベントを企画してまいります。

十番 無鴨黒 イベントレポート：<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000629.000004635.html>

② 【四十八漁場・なきざかな】2026年新年の祝い酒～ubu（うぶ）新春特別詰え～販売開始

魚貝専門 漁師直結
四十八漁場



東京都内を中心に運営する「四十八漁場」「なきざかな」などの魚業態ブランドでは、2026年1月の営業初日より、各店舗にて新年の祝い酒「ubu（うぶ）」を数量限定で開始しました。この日本酒は全国各地から質の高い酒を厳選して揃える四十八漁場が日本酒のすそ野の拡がりに貢献したいと考え、杜氏とともに企画した日本酒で、2020年より販売開始しました。広島・山口の各蔵元の協力により、魚との相性を考えて当社のために特別に詰えた日本酒です。数量限定で販売する新春だけの味わいです。生産者とともに様々な取り組みを進める魚事業の取り組みをお楽しみください。

【2026年限定酒】ubu 新春特別詰え：<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000630.000004635.html>